

# 被爆地の思い発信

核兵器廃絶と平和を願うメッセージを世界に伝える今年の「高校生平和大使」(ながさき平和大集会実行委主催)の6人が決まり、そのうち県内の高校に通う3人が4日、長崎市役所で会見、意気込みなどを語った。

6人は▽活水高3年の大渡ひかるさん(17)▽佐世保工業高等専門学校3年の中島彩希さん(17)▽県立長崎北高2年の林田光弘君(17)▽神奈川県立湘南高2年の山本大記君(16)▽久留米大学附設高(福岡県)2年の福田綾子さん(17)▽鹿児島

が明かすから

## 今年の高校生平和大使 決まる



今年の高校生平和大使に選ばれた県内の3人。(右から)林田君、大渡さん、中島さん  
—長崎市役所

3 本県からは 大渡さん、中島さん、林田君

県立武岡台高1年の岡元美沙貴さん(15)。大渡さんは「長崎や広島には原爆の傷が癒えずに苦しんでいる人たちがいる」ということを訴えたい、林田君は「署名活動の中で感じた長崎の人たちの思いをしっかりと伝えたい」、中島さんは「被爆地長崎の高校生だからこそ伝えられることを発信したい」と、それぞれ抱負を述べた。平和大使は8月17日から24日まで欧州を訪問。国連欧州本部(スイス・ジュネーブ)では、核兵器廃絶を訴えスピーチし、高校生1万人署名活動実行委が集めた署名を提出する。第1次世界大戦で毒ガス攻撃を受けたベルギー・イーペルなども訪れる。12回目の今回は全国から約110人の応募があった。6人のほかに、ブラジル在住の高校生1人を6月末までに選ぶ予定。